



①上村団長を先頭に分列行進。
②第9分団の通常点検
③放水競技で優勝した第6分団
④ポンプ車も勢揃い。

山都町消防団 出初め式

競技の結果

	総合	通常点検の部	放水競技の部
第1位	第6分団	第9分団	第6分団
第2位	第9分団	第13分団	第4分団
第3位	第12分団	第6分団	第2分団

山都町消防団出初め式が3月6日、山都町菅グラウンドで開催され、756人の団員が参加、冷たい雨の降る中、あふれる消防魂を披露しました。

式では、甲斐町長の式辞、上村雄二団長の訓辞に続いて、通常点検や放水競技が行われ、各分団が日頃の訓練の成果を競い合いました。

出初め式には、清和中、蘇陽中の少年消防クラブと下矢部保育園、明光保育園、御岳保育園の幼年消防クラブも参加し、大人顔負けの通常点検を見せました。3つの幼年消防クラブはそれぞれに大きな

声で「火遊びはしません！」と宣誓しました。

また、この日、日本消防協会表彰などの各種表彰が行われ、消防団活動に尽力してきた優秀な団員に表彰状が贈られました。さらに今年度、地下式防火水槽4基の設置に伴い、用地を無償提供いただいた方々に感謝状が贈られました。

【用地を無償提供いただいた方々】

原地区 田上 幸博 様
 柚木地区 下田 一康 様
 飯屋地区 大庫今朝則 様
 柳井原地区 春田今朝信 様



⑤防火の誓い（御岳保育園幼年消防クラブ）

⑥蘇陽中学校少年消防クラブ

鑑賞会で清和文楽披露 清和小ひのき舞台に立つ

3月2日、清和文楽館で、町内の小学6年生と清和小全児童を対象にした「清和文楽」鑑賞会が行われ、このなかで清和小6年生が清和文楽人形芝居を披露しました。この鑑賞会は、山都町教育委員会が、卒業を控えた6年生に山都町の宝「清和文楽」にふれてもらい、ふるさとを知り、愛する心を育んでもらおうと毎年開催しています。

清和小6年生15名が披露したのは「傾城阿波の鳴門巡礼歌の段」。阿波藩（今の徳島県）のお家騒動を題材とした物語です。昨年6月頃から総合学習の時間を利用して、練習を重ねてきました。県立美術館や県庁での披露に続き3回目の大舞台です。文楽館職員と清和文楽保存会の方々からの指導を受けた小さな演者たちは、語り、三味線、人形遣いをこなし、物語の情感を見事に表現しました。上演後には会場からの大きな拍手を受け、最後の舞台を終えました。



最後の舞台がこれまでで最高の出来でした。

時間があがり、児童たちは興味深そうに人形のしくみを聞いて、実際に人形操作を体験していました。

清和小の出演者（敬称略）

【語り】
田中 彪雅 松本 拓実 渡邊 里佳



町内の6年生約200名が鑑賞しました。



思ったより重いなあ〜。

【三味線】
石原 海斗 田島麻莉亜 藤原麻奈未
 【人形遣い】
兼瀬 昂大 亀谷 雄樹 木村 優太
 寺尾 直樹 荒牧 哲平 高本 湧斗
 春木 香澄 藤川唯生利 藤川 煌世

弥生時代の

青銅鏡が出土

北中島西原遺跡



ほぼ完全な形で出土した仿製鏡（左）と破片ながら良い状態で出土した舶載鏡（右）

九州横断自動車道延岡線建設事業に伴い、県文化課が進めていた北中島西原遺跡における発掘調査で、2月28日、弥生時代の青銅鏡が2枚出土しました。見つかったのは、中国鏡を模倣して日本で作られた仿製鏡1枚と、中国・朝鮮半島から到来したといわれる舶載鏡1枚。弥生時代の住居跡から2枚の青銅鏡が一度に出土することは極めて珍しく、山都町で発見されたのは1959年、下名連石枯木原遺跡に続き2例目です。これは、青銅器の流通経路を探る上でも貴重な発見です。発掘調査は、平成24年3月まで予定されています。西原遺跡からは、これまでも縄文時代早期の土器片、旧石器時代のナイフ型石器や剥片などが発見されています。